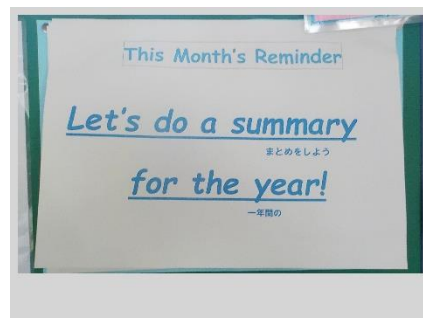


学年末を迎えました。1年のまとめの時期にあたり、子どもたちは卒業や進級を前に、学習面や生活面での振り返りをして、新たな学年での目標を立てているところです。

一方、新型コロナウイルスの感染は依然として続いており3年目に入ろうとしています。1月から2月にかけて第6波の感染が拡大する中、本校でも感染拡大防止のため、やむを得ず学年閉鎖や学級閉鎖の措置を取らざるを得ない状況も発生しました。5年生の林間学園は、2度の延期により3月上旬に実施を予定していましたが、残念ながら中止となり、子どもたちは今、校内での代替行事を企画しているところです。例年は体育館に全校児童が集まって行う「6年生を送る会」も、「6年生を送る週間」と形を変え、1年生から5年生の児童一人ひとりが、6年生に対する感謝の気持ちをメッセージや似顔絵などの掲示物で表現しました。6年生は在校生に対するお礼の気持ちをビデオメッセージにして各学級に配信し、手作りの名札ホルダーを各クラスに贈りました。(学校のように2021)→3学期に写真を掲載しました)



新型コロナウイルスとの闘いは私たちに我慢と不便を強いており、学校でもさまざまな教育活動が制限や中止を余儀なくされていますが、そのような状況下に置かれても、「できることは何か」「より良い形でできることはないか」と模索し、新たなアイデアを出し合う姿勢が、教職員や子どもたちに身についたように感じています。また、保護者の会の活動も少しずつ再開され、ボランティアの方々が本校の教育活動の支援や環境整備、児童の安全見守りなどにご協力下さっていることも心強く思います。毎月の運営委員会では役員の皆様と意見交換をする場があり、学校と保護者が一体となって、子どもたちのために更に充実した活動を創り出そうという雰囲気に満ちています。

コロナ禍での生活が今後どれだけ続くのかわかりませんが、令和4年度も保護者の皆様、地域の皆様のお力添えをいただきながら、旭っ子が心豊かにたくましく育つよう努めて参ります。(角田)



リニューアルされた 保護者の会の掲示板